きみかげ

学校だより１１月号

令和６年１０月３１日

神戸市立君影小学校

実りの秋

早いもので、もう１１月。「実りの秋」です。秋といえば、「食欲の秋」「スポーツの 秋」「読書の秋」などと言います。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、 とても過ごしやすく穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できるといわれています。秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するともいわれます。

本校でも、実りある活動を推進すべく、音楽会をはじめ、6 年生の修学旅行や 1・2 年生の校外学習が行われる時期となります。日々の授業では、子供たちの“笑顔あふれる授業”が常に見受けられます。それは、 学習内容が分かり、子供が主体的に参加する姿が多く見られるということです。

我々教師集団も、今日の学習課題を提示し、発問を工夫したり子供の発言の後の間を大切にしたりして、考える時間や書く時間を確実に設けるようにしています。しかしながら子供によっては「面倒くさいな。面白くないな」など行事や学習に対して否定的な考えをもつことも予想されます。

そんな時には『楽しくするのは、自分。楽しくなくするのも、自分』という言葉を思い出してほしいと思います。仲間と活動を作り出すような場面を迎えるとき、思い通りにいかなかったり、うまくいかなかったりすることはよくあることです。でも、それを他人のせいにするのではなく、自分自身が前向きであることを大事にするような成長をしてほしいのです。朝会でも「楽しくするのは自分だよ。」と子供たちには話しています。

11 月 2 日（土）は音楽会です。子供たちがこれまでのがんばってきたことを精いっぱい保護者の皆様方の前で披露してくれることと期待しています。ぜひ、大きな拍手で子供たちの成長や練習成果を励ましていただければと思います。

この「実りの秋」に子供たちがより一層成長できるよう、学校は、 保護者、地域の皆様と一体になって、本校の活性化を図っていきたい と考えています。どうぞご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

学校長